

10月号

2016年10月1日発行



くるりのお便り

北区リサイクラー事業協同組合
TEL 03-3910-1290
Fax 03-3910-1263
〒114-0016
東京都北区上中里1-41-10

持ち去り防止と周知活動にご協力ください

今年度も区民の皆様へ協力を頂き、持ち去り禁止意思表示紙カバを貼付して資源を出していただく対策事業が10月1日より始まります。

今回の対象地区は滝野川地区(上中里、栄町、昭和町、滝野川、田端、田端新町、中里、西ヶ原、東田端)で約54,000軒にポストインク配布されます。

当組合でも集団回収でお世話になっている町会が多いですが、今回は清掃事務所の資源古紙回収の荷物が対象となります。

しかし資源の持ち去りは、清掃事業の資源だけに留まらず、集団回収にも被害は波及しており、マンション等のゴミ置き場に入り込んで持ち去るという犯罪行為に及ぶ者もいます。

資源の持ち去りを根絶する事によって集団回収品を盗む者がいなくなり

回収量の増加が考えられます。

その為に必要なのは、集積所からは区の指定を受けた業者しか集めてはならず、それを破った場合は条例違反になるという事や、北区の資源も持ち去られているという事を知って貰う事です。



平成26年度の古紙回収量を比べた場合、清掃事務所の古紙回収も、町会団体の集団回収もほぼ同じ7300トンです。

二人に一人が清掃事業の古紙回収を利用して、区民の半数が利用している以上、地域で集団回収をやっても周知をしなくては、持ち去り予防にはならないのです。

清掃事務所古紙回収の売り上げは北区の財源の

読書市開催!! 読まなくなった本、寄付頂けませんか?

1つとなつていきます。これを守るには区民の皆様のご協力が必要です。

区と区民が団結し持ち去り行為撲滅を目指すこの事業、業界代表として当組合も協力していきたいと思ひます。

(鰐淵雄二郎)



読書の秋という事でいつもの大型資源活用市だけでなく、古本を多く販売いたします。
リユースと販売を目的としている為、状態の良い本に限りませんが、区内でしたらどこでも無料で回収に伺いますのでご協力お願い致します。

平成28年11月6日(日) 富士見橋エコー広場館で読書市(古本市)を開催します。

読書市

読書市開催のお知らせ
NPO 法人 北区リサイクラー活動推進部
TEL 03-3824-3196 http://www.kitaku-recycle.jp



寄付募集している本：小説、漫画、絵本、児童書、専門誌
誠に恐れ入りますが、販売が難しいと判断した本にはお引取りできません。予めご了承下さい。

問い合わせ先：富士見橋エコー広場館 (3824) 3196
引き取りの締め切りは10月31日(月)までとさせていただきます。
また、引き取り日の指定は出来ません。担当者が改めてご相談の電話をさせていただきます。

編集後記

暑くもだいぶ落ちつき、少し肌寒い日もちらほらやって来ましたがいかががお過ごしでしょうか。

読書家ではないので、気が向いた時にしか本は読まないのですが、最近読んだことのない新しいものを読むより、昔読んでまた読みたいと思うものを好んで読んだ



皆さんは怪談、怖い話は好きですか?

僕は大好きです。TV番組でも特集が組まれ、毎夜僕たちの想像力をかき立ててくれます。

なので、ここで一つ、僕が経験した怖い話でも紹介いたします。

あれは2008年の秋頃。父が母を連れて同窓会から帰ってきた直後のことです。

父はカメラで人を撮るのが好きで、毎回行事がある度に写真を撮るアルバムに保管していました。

嬉しそうに旅先での出来事を話す両親。僕と姉が向こうで撮影した映像をカメラでチェックしていましたね。

人生で初めて見た、本物の心霊写真。

りしています。

引っ越しの際に捨ててしまったり、貸したまま誰か貸したか左折れしてしまった物を古本屋で探したり。

人気のあるものは新装されてしまうので、自分が持っていたものと同じ表紙を探したり。

記録された映像では、ぼやけていますが、人の焼けただれたような手がカメラを包むように映し出されている。

この時の状況を両親に聞いてみると、その場所でもシャッターを押しても反応せず、撮れていないだろう、位にしか感じていなかったらしいです。

それを聞いた僕は、気味が悪くなり、その場ですぐに消去したのですが、再びフォルダを開くと消したはずの写真が残っていました。

何度も何度も消去を繰り返して、ようやく消すことができました。

やはり人間というのは、自分の想像を超える物事に出くわすと自然と記憶の中に残しておきたくないと感じるのかも知れません。

あなたも、一度は言葉で説明できない現象を体験したことがあるのでは?

(若松 伸吾)

そんな経験のある方、ない方。

読書好きの方、本自体が好きな方。

是非とも読書市にいらして下さい。

きっと楽しいと思います。(サクマ ダイスケ)

Group recycling information including contact details for Kitaku-Rila and a list of accepted items like newspapers and old goods.

Group recycling recommendations, highlighting a 6 yen per kg incentive and the importance of community awareness activities.